

「BICLICK PAY」 ついに稼動開始 ～フロントコンピュータ連動のキャッシュレス精算システム～

▶▶ Report ▶▶ ビックリック(株)

ビックリック(株)は、全自動予約受付システム「Loveho Butler」(ラブホバトラー)の提供に加え、ホテル運営に合わせたオーダーメイドシステムを構築するコンサルティング業務を昨秋からスタートさせ、注目が高まっている。さらに同社は、現在、業界が抱える大きな課題であるキャッシュレス化への対応に関しても、フロントコンピュータ連動型でクレジット・QRコード決済の両方に対応するキャッシュレス精算システム「BICLICK PAY」を独自開発し、今春、稼動を開始させた。

■コスト負担を最小限に抑え、クレジット・QRコード決済の両方に対応

クレジットカードの決済は、2020年3月に磁気カードが使用不可となりICカードでの対応が必要となる。さらにデータの非保持化、世界的セキュリティ基準のPCI-DSS規格への対応も必要。これに対応するためのコストは、

- ①客室精算機入替の場合
=40万円～/室
- ②カードリーダー交換の場合
=10万円～/室
- ③専用LAN配線工事が必要な場合
=2万円～/室

と大きな追加投資が必要となる。さらにレジャーホテルの客室内決算では、手数料が高額で決済金額の上限規制もある。一方、QRコード決済は、一般の飲食店・物販店での導入が急速に進んでいる状況ながら、ホテルでの採用には課題が残る。整理すると、

- ①フロントコンピュータ連動が困難
- ②客室での決済が想定されていない
- ③複数のQRコード決済に対応するためには各社専用の決済端末が必要

＜キャッシュレス時代に対応する「BICLICK PAY」システム＞



客室TV等を使ってクレジット・QRコード決済の両方に対応。イニシャル・ランニングともにコスト負担を最小限に抑え、お客様もフロント担当者も手軽に使えるシステムを提供

「BICLICK PAY」は、これらの課題を解決するシステムなのだ。

その特徴を整理すると、

- ①クレジットカード、QRコード決済に対応
- ②フロントコンピュータ連動が可能
- ③カード決済手数料が3%程度
- ④早期入金オプション対応
- ⑤自動精算機はそのまま利用可能
では、具体的な決済の流れを見よう。
- ①客室TVに決済用QRコードを表示
*専用端末、VOD等より決済開始を実行
- ②お客様がスマホカメラでQRコードを読み込む
*専用アプリは不要
*決済画面(インターネット上)に移動
- ③決済方法選択画面を表示
*希望の決済方法選択(クレジット、PayPay、PayPalなど)
*利用料金はフロントコンピュータから取得。フロントコンピュータは会計中の表示となる
- ④カード情報やIDを入力
*選択した決済方法により入力項目は異なる
*初回のみ入力で2回目以降は不要
- ⑤決済終了

*フロントコンピュータは会計完了の表示になる

お客様、フロント担当者にも簡単に利用できるシステムといえる。

では実際の導入コストはどうか。

- ①初期導入費=25万円～/店舗
(工事設置費用)
- ②決済端末
・TV接続型=2万円～/室
・タブレット型=5万円～/室
・既存VOD利用=10万円～/店舗
(ライセンス利用料)
- ③ランニングコスト=2万円～/月
(システム利用料)

また、客室端末は今後リリースされるInternet Media Player (VOD)、ホテル会員システム、電子クーポンシステムなど、決済以外のレジャーホテルコンテンツに対応する。

「BICLICK PAY」は、時代の流れのキャッシュレス化に対応する、ホテル側の視点で開発されたシステムであり、ぜひ注目したい。

問合せ

ビックリック(株)

東京都中央区築地 6-19-21

問合せは下記ホームページから

<http://biclick.jp>